MAKIBA TSUSHIN

愛知老人コミュニティーセンター　ニュース

まきば通信

第13号

日本基督教団
愛知老人コミュニティーセンター
〒470-0111　日進市米野木町南山987-88
TEL.0561-74-5548
FAX.0561-74-5561
ホームページ　http://www.mb.ccnw.ne.jp/makiba
E-mail　makiba@mb.ccnw.ne.jp
発行日　2008年8月10日
発行人　鈴木　卓也

「主イエスは生きておられる」

日本基督教団総幹事　内藤 留幸

「一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。」

（聖書　ルカ福音書 24：30～31）

全てのものを空しくする死の力に、よみがえりの主イエスは勝利されました。これは私たちの自覚の如何にかかわらず、事実です。

よみがえりの主イエスは、エマオ途上で二人の弟子と出会います。この出来事の中で、はじめ弟子たちは目をさえぎられ、主イエスのことが分かりませんでした。「主は生きておられる」との天使の証言を二人は信じることができなかったのです。

「主は生きておられる」とは、主イエスが私たちの名前を呼んでくださるということです。かつて、ラザロも死の淵にあって主から名を呼ばれました。主の墓を訪ねたマグダラのマリアも、主の呼びかけを聞きました。私たちも一人一人が主から名を呼ばれて、命へと導かれます。礼拝の場所におもむき、救いの言葉を聴きます。

「主は生きておられる」とは、私たちを生かす命の言葉が語られることです。そして、主の前に出ると私たちには祈りがあふれてきます。生きている主は、私たちの祈りを聞き届けてくださいます。

やがてパンを裂く主イエスの様子に二人の目が開かれ、その姿は二人の前から消えていきます。主イエスは私たちのため場所を用意するため、天国へと帰ります。そして、聖霊を私たちに贈り、希望を示し、愛の行いへと導いてくださいます。

使徒信条の最後には、永遠の命への信仰が告白されています。これこそが、生きている主が私たちに与えてくださった確かな希望です。

（3月27日におこなわれた「まきばイースター礼拝」での説教を要約したものです）

◀本館と新館の中庭から牧場を望む

「まきば」を訪ねて

日本基督教団総務幹事 愛澤 豊重

「まきば」のイースター礼拝に出席することが出来て、とても大きな喜びを味わいました。新しいホールに集まった大勢の入居者の方々のにこやかなお顔。新館が出来て、ほんとうに良かったなぁと思いました。

以前に「まきば」を訪問したのは、新館の建築計画をしていた頃ですから、もう3年くらい前になるでしょうか。竹前昇前総幹事と一緒に、この時が初めての訪問でした。施設長の鈴木さんや篠田理事長に案内されて屋上から下を見ながら、ここにこういう施設を建てて、ここをこんな風にしたい、と夢を込めた計画を説明してくれた言葉を覚えています。ぜひ計画を進めましょうよ、と話をしました。愛知兄弟社も訪ねて用地の話もしました。その夢が現実になっているのです。

私は教団の事務局で仕事をしていますので、「まきば」の新館の建築についても沢山の図面や書類に印鑑を押してきました。でも、書類上で想像していたことと実際がどうあるかは、本当に違うものです。図面には誰も住んでいないのです。そこに生活している人たちの笑顔はなかなか伝わってこないのです。そういうイメージを豊かにすることが本当は望ましいのでしょうが、しかし書類の山の前で、実際は難しいものです。そういう意味ではお役所のような仕事をしているのかもしれません。それが来てみて今、そうなんだ、こんなに素敵に出来上がったんだ、ということが実感でした。百聞は一見にしかず、とは良く言ったものです。ほんとうにそうでした。

そこに生活をする人にとって、住居は快適でなければなりません。そこに働く人たちにとっては、仕事が十分にやりやすい施設でなければなりません。それを実現するためには、何人もの人の知恵を集め、努力が積み重ねられなくてはならないでしょう。その成果がここにありました。明るい広い廊下を通って部屋に案内されて、部屋の入口の布の名札にまで気配りがなされていて、それ一つとってみてもここを計画し、働く皆さんの思いが伝わってくるような感じがしました。

「まきば」は「まきば」でなくてはならないのです。神の愛に包まれて、豊かな牧草のなかで、よき羊飼いに羊の一匹一匹が大切に守られている、そんな神の牧場が私たちの求めている所です。一人一人に慰めと希望が与えられ、癒しと喜びが与えられる、ほんとうの「まきば」になりますように。

◀イースター礼拝

まきばトピックス クリスチャン新聞にて紹介されました

2008年3月30日(日曜日) クリスチャン新聞 6

高齢者特集

教団・教派を超えて

信仰生活を全うできるホーム

お年寄りと向き合う ホスピタリティー

クリスチャンヘルパーが届ける介護と福音

牧場と開拓のホームで退職牧師・信徒に行き場

「してあげる」のではなく「させていただく」のが信条

2008年3月30日付のクリスチャン新聞に「教団・教派を超えて信仰生活を全うできるホーム」というタイトルで、見開き二面を使ってカラーで紹介されました。「百万人の福音」で知られる「いのちのことば社」が毎週発行している新聞で、その号は「介護特集」として編集されました。福音派教会が多く購入している新聞なので、信徒さんからの問い合わせを楽しみにしています。

3月11日に記者が取材に訪れ、朝の礼拝から参加、「まきば」の見学取材はもちろん、周辺環境から近隣施設、その成り立ちまで詳しく取材され、最後に夜の「国際病院聖書集会」にまで出席して東京へ帰られました。

そして、隣の南山教会も"cya cya church"というコーナーで、同時に紹介してくださいました。

礼拝・聖餐式を開始しました

これまで、毎週金曜日午前に「聖書の学び」と「讃美の集い」を開催してきましたが、4月からは第1金曜日に「礼拝・聖餐式」を始めました。日曜日に教会へ行けない方に喜ばれています。第2金曜日から第5金曜日は「聖書の集い」。「賛美の集い」は、月2回午後に開催しています。

「礼拝・聖餐式」には、篠田潔理事長はじめ理事・監事4人の教団正教師があたってくださいます。

入居予約申込 受付中

見学や体験入居もできます（要予約）

日本基督教団　愛知老人コミュニティーセンター
silver home
まきば

シルバーホーム「まきば」と共に祈りの生活を……
広い牧場を臨み、近くに愛知池があり、
緑豊かな自然に包まれて暮らす…
真向かいに病院があり、牧場をはさんで
教会もあります。

キリスト教プログラム　「礼拝」「聖餐式」「聖書の集い」「讃美の集い」などの定例集会が毎週施設内であり、自由に参加できます。
主日礼拝出席者のために、日本基督教団南山教会からバスが迎えに来ます。
その他、南山教会の「聖書研究祈祷会」、真向かいにある愛知国際病院の「聖書集会」にも自由に出席することができます。

交通機関　名鉄豊田線（名古屋市営地下鉄鶴舞線より直通乗り入れ）黒笹駅から900m
東名高速道路・三好ICから3.4Km 日進市公共巡回バス・南山エピック南から200m

提携医療機関　医療法人財団愛泉会愛知国際病院（内科、外科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、神経内科、胃腸科、肛門科、循環器科、リウマチ科）、武田歯科医院、たかはし眼科

類型及び表示事項　施設の類型／介護付有料老人ホーム（一部住宅型）　居室の権利形態／利用権方式
介護保険／愛知県指定特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護
入居時の要件／60才以上で入居時自立及び要支援の方
介護居室区分／個室及び二人部屋　　介護にかかわる職員体制／2:1以上

入居一時金　1人部屋／1500万円（22.05m²）
2人部屋／2200万円（32.76m²）　　返還金制度あり

お問い合わせ先
(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター　シルバーホーム「まきば」
〒470-0111　愛知県日進市米野木町南山987-88
TEL.0561-74-5548　FAX.0561-74-5561　　http://www.mb.ccnw.ne.jp/makiba

編集後記

愛知牧場では、ひまわりの花が夏の陽をいっぱいに浴びて畑一面に広がっております。

各教会・地区・教区におかれましては、総会も終わり、新たな歩みに向かって励まれていることと思います。

さて、通信13号前半の紙面は、イースター礼拝に教団本部から内藤総幹事と愛澤総務幹事をお招きした時の説教内容と、ご挨拶、教団とのかかわりを考える内容となっております。

「まきばを支えるスタッフ紹介」、今回は厨房のスペシャリストをご紹介いたします。家庭料理から特別料理まで、食の安全に心を配った美味しい料理が頂けることは、入居者や来訪者にとっても楽しみの一つです。

新館の紹介を含む新しいパンフレットが出来上りました。御教会・伝道所でご活用頂ければ幸いです。なお、「まきば」での生活を楽しんで頂きたく思いますので、できるだけ早い申込とご入居をお薦めいたします。（真木）